

## 新聞活用して 楽しい授業を

うるま・中原小 教員、保護者がNIE研修

【うるま】うるま市立

中原小学校(安里禮子校長)で10日、新聞活用の手法を学ぶNIE校内研修が開かれ、約40人の教員や保護者が参加した。

講師を務めたNIEアドバイザーの兼松力大里中教諭は、NIEの現状や切り抜き新聞作りなど具体的な実践例を紹介し、「新聞はアイデア次第でいくらでも活用でき、

(文部科学省が求める)教育目標の達成につながる授業になる」と強調。「先生方が楽しい授業を子どもたちと共有してほしい」と呼び掛けた。

同研修は、同校で11月3日に開催される県NIE実践フォーラム(県N



グループごとに切り抜き新聞作りを行う参加者ら＝10日、うるま市立中原小学校



I E推進協議会主催)に向けて開かれた。

兼松教諭は冒頭、NIEの手法が近年、記事の内容そのものを授業に生かす「内容論」から、記事の書き方や構成など新聞の特徴を捉えて活用する「方法論」に変わっていることを説明した。新聞の大きな特長として、さまざまな分野の情報が詰まっている「総覧性」と、自在に切り抜いて活用できる「紙媒体である

こと」を挙げた。

参加者はそれぞれ、県内2紙の市町村面から気になる記事を選んで切り抜き、グループごとに一つの新聞に再構成する「切り抜き新聞作り」に挑戦した。

研修を見守った山内彰 県NIE推進協議会会長は「誰でも、いつでも、楽しくできるのがNIE。生きる力を培う手法を楽しく体得してほしい」と激励。参加した仲地エリ子教諭は「アイデア次第で広がり、楽しく実践できることを実感した。コミュニケーション能力を培うことができる。実践にも感動した」と述べた。